



2018年1月10日

リパミン広報センター

リパミン広報センター主催によるP S 無料セミナーを開催 P S（ホスファチジルセリン）の最新エビデンスとついに受理された研究レビュー（SR）を紹介

リパミン広報センター（DKSHジャパン、ビーエイチエヌ株、株ヘルシーナビ）が共同で進めていたP S（ホスファチジルセリン）の研究レビュー（SR）がついに機能性表示食品として受理されましたので、その研究レビューの内容とP Sの最新エビデンスを、P Sをはじめ多くのスポーツニュートリション素材の研究・開発に携わるラルフ・イェーガー博士（米国 Increnovo 社取締役）と共に無料セミナーにて報告いたします。

P Sは、アミノ酸の一種であるセリンとリン酸、グリセロール、脂肪酸が結合した物質であり、水溶性・油溶性の両方の性質を持つリン脂質の一種。リン脂質は生物の細胞膜を構成する重要な成分であり、体を構成しているすべての神経細胞の膜に存在している。特に脳や神経組織に多く含まれ、脳の機能に重要な化学物質であり、ヒトの脳の全リン脂質の約18%を占めるとも言われているため、「脳の栄養素」とも呼ばれています。

欧米で多くのアルツハイマー症や老人性痴呆症の治療薬として実績があり、米国では、認識力の低下を抑える、認知症のリスクを抑える旨が表示されています。

日本においても、2016年4月にスタートした「機能性表示食品制度」にP Sの脳機能に関する表示が出来ないのかという要望が多く寄せられ、リパミン広報センターは共同で、P Sを機能性表示食品制度に対応した素材とするため、「脳機能改善」と「ストレス低減」という機能性に関して研究レビューを実施し、2017年12月に「脳機能改善」で機能性表示食品として受理されました。

つきましては、これらの研究レビュー結果や関連する最新エビデンス、また、P S先進国であるアメリカ市場の最新状況を無料セミナーにて紹介いたします。

【セミナー日程】

会場：TKP 御茶ノ水カンファレンスセンター ホール 2B

日時：2018年2月22日（木）15:00～17:15

題目及び演者：別紙案内文書をご参照ください。

【当該記事に対する問い合わせ先】

リパミン広報センター（代表）

ビーエイチエヌ株式会社

東京都千代田区神田錦町 1-16

原料営業 山下・酒井

TEL:03-5281-5661